

図書館だより

— 新入生歓迎号 —

第40号 平成19年4月9日
高松工業高等専門学校図書館
TEL (087) 869-3813
FAX (087) 869-3948

図書館長を 担当するにあたって

図書館長
権藤 典明



4月から図書館長を担当させていただくことになりました。平成9年度から5年間担当させていただいていますから、二度目になります。一度目の図書館長のときには、ブックハンティングや、平日の開館時間の延長や土曜日開館などはすでに

はじまっていた。その後、カバンの持ちこみができるようになりましたし、CDやDVD・ビデオソフトもずいぶん所蔵数が増えました。

一方で、学生の皆さんが利用しやすくなるような図書館を実現するためには、解決しなければならない問題もまだのこっているに違いありません。そのために、皆さんからの積極的な提案をお願いしたいと思います。皆さんの協力をえて、使い勝手のよい図書館をめざしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

(ごんどう・のりあき)

退任にあたって 「読書時間の作り方」

前図書館長
長谷川 隆



平成14年4月からこの3月までの5年間、図書館長をさせていただきました。その間、「図書館だより」に読書の勧めを機会あるごとに書きましたが、読書をするためには時間が必要です。最後に、時間の作り方について書きましょう。

読書する時間がないということをよく耳にします。私自身、毎年すべき仕事量が増えているような気がして、まともに仕事をしていたらとても読書する時間がとれません。かといって、本を読まなければ仕事ができるかというと、そういうものでもありません。仕事(勉強)と読書のバランスをどうとったらよいのでしょうか。

第1に、意識的に非日常的な時間をつくること、例えば、旅に出ることではないでしょうか。先日、用事で京都に行ってきました。高速バスの往復6時間は、窓から淡路島の景色を眺めたり、居眠りをしたり、本を読んだりしました。本として、スコット・フィッツジェラルド作、村上春樹訳の『グレート・ギャッピー』を持って行きましたが、手

頃な時間でした。本を読むためにはまとまった時間が必要です。

第2に、「すべて」をパーフェクトにしようという大望は持たないことです。いや、持ってもよいのですが、自分の限界を知るためにチャレンジしてみるのだということをおぼえておく必要があります。「すべて」をとると、軽重を考えずがむしゃらになって一番大事なことが抜けるのです。もちろん、一つか二つであれば、100%か120%を目指すことは一向にかまいません。私は①人の一生に関わることや、やらないと他に大きな迷惑をかけること、②自分や家族にとって大事なこと、③自分がどうしてもやりたいこと、の3つを優先して、他はできるだけ捨てることにしています。ただ、なかなか捨てきれないのが悩みの種ですが。

最後に一番大事なことを言います。本好きになることです。好きであれば時間は必ず作れます。

(はせがわ・たかし)



修了生から

本を読むきっかけ

建設工学専攻修了生 藤川 直毅



高専生活が終わろうとしている今、率直に考えてみると、まともな図書館の利用回数が増えたのはここ1年半くらいです。それまでは、単にファッション雑誌や地元誌を読むために利用することが大半を占めていました。他に図書館を利用する目的として、例えば授業で疑問に思ったことを調べるとか、レポートを提出するための資料を探すとかということが考えられます。しかし、それはインターネットを中心に集めていました。専攻科に入ってから、一人にパソコンが1台というすばらしい環境が整っていた

ため、こういった傾向はさらに強まっていました。その頃、私自身インターネットで十分資料集めは出来るし、わざわざ図書館に行かなくてもいいと思っていたのが正直なところですが、今思えばこう思ったことを後悔しますが……。もちろん環境の良さを否定するわけではありません。他にもこの環境だからこそ良かったこともたくさんあります。

しかし、ある時いくらインターネットで調べても良い資料がなかなか見つからず、ふと図書館に行ってみようという気になりました。これが私の図書館利用回数が増えたきっかけとなりました。なぜかという、本にはインターネットにはないすばらしさがあったからです。本でしか分からないもの、本だからこそ分かるものがあります。私はそれに気付くのが遅すぎたと感じます。しかし、このことに気付けただけでも今後に生かせると思います。図書館に行かない人は一度図書館に行ってみてください。きっと何か発見できるはずですよ。

(ふじかわ・なおき)

卒業生から

図書委員で良かった！

機械工学科卒業生 島村 豪敏



高専生活の5年間の内、4年間も図書委員をしていました。どうしてそんなに？と思うかもしれませんが、図書委員だと良いことがあるのです。それは、ブックハンティングへの参加や、新着図書の紹介を優先的にやらせてもらえることです。

ブックハンティングは本当に楽しいです。なんといっても自分の財布が軽くなるところが(笑)。欲しいけど買えない…という高価な専門書や、ちょっと気になるけど買うほどじゃあないし立ち読みもなあ…という本がある自分にはとても良いシステムです。

また、新着図書の紹介もやりがいがありました。自分の紹介した本を誰かが読んでくれると思うと、自然と力が入るものです。紹介する本を厳選したり、紹介文も内容をうまく表しつつオチは自分で読まないと解らないようにしたり。とにかく多くの人に自分が読んだ「良い」本を手にとって貰いたくて工夫していました。

図書委員の普段の仕事は本を読むこと。読書が好きで、自分の読んだ本を他人にも読んでもらいたい自分にとって、図書委員はまさに天職でした。

その君！ 図書委員でなくてもブックハンティング、新着図書の紹介ともに出来ますから、ぜひやってみて下さい。面白さに気付けば、きっとあなたは図書委員になろうと心に決める筈です！！

(しまむら・たけとし)

図書館の工夫

電気情報工学科卒業生 村河 智子



入学した時に高専には図書室ではなく図書「館」があると聞いたときは本好きな自分にとってものすごくうれしかったことを思い出しました。自分の通っていた中学には図書館があったことはあったのですが、あまり本の種類も多くなく、利用する機会も少なかったのです。

高専の図書館の第一印象は「専門書が多い」ことでした。図書は分類番号順に並んでいますが、専門書の部分の多いこと！ 5年間の高専生活の中での利用は文学の棚がメインでしたが、レポートなどでたまに利用させていただきました。授業のレポートの問題が教科書からではなく、図書館にある別の教科書や参考書から出題されていたりということが多々あるからです。感謝！

図書館のイベントでなによりも楽しみだったのがブックハンティングです。自分の好みの本を1年間で1クラス2万円も買えるというものすごく魅力的なイベントです。2万円分の本なんて自分では一度に買う機会が滅多にありません。ハードカバーなどは高いので自分で買う場合は1回にせいぜい1冊か2冊です。それを2万円分、20冊弱買えるなんて！本好きに取ってはたまらないイベントでした。ブックハンティングの度に私好みの本が大量に増えていました。以前1000ページ読破記で書いた乙一さんの本もブックハンティングで全部買い占めたりもしてしまいました…。おすすめののでぜひ読んでくださいね！

高専の図書館はいろいろな工夫をして高専生が快適に過ごせるようにしてくださっています。みなさんも、試験勉強のため、ではなく本を読むために図書館を訪れてみてください。(むらかわ・ともこ)

卒業生から

図書館の空気

制御情報工学科卒業生 徳田 大輔



高松高専の図書館には、本当に5年間お世話になりました。他の学校の友人の話聞いてもこれ以上の学校の図書館はないと思います。

参考までに私が5年間どのように図書館を利用したかを言いたいと思います。

まず一つ目はテスト勉強です。私は集中力がなく、家に帰ってもゲームばかりしてしまいます。またゲームを封印しても集中力が続かず何か他のことをしてしまいます。しかし図書館に行くと独特の空気があり、それに引っ張られるように勉強できました。また、わからないことがあれば先生に聞きに行けて分からないところが解決しますし、教科書が分かりにくいときは、他の参考書を見ることができ理解できる時もあります。

二つ目はやはりブックハンティングです。私はよく文庫を読むのですが、本屋で立ち読みするのは疲れます。買おうと思ってもしリーズだった場合簡単に2000円前後までいきます。お金のない学生としてはこれは痛い出費です。ハードカバーの場合も同程度かかります。それをブックハンティングで買うことができたので、他のことにお金をまわすことができました。

私がよい学生生活を送れた要因の一つは図書館です。皆さんもどんどん利用してください。

(とくだ・だいすけ)

図書館の神

建設環境工学科卒業生 岩城 知明



私に今日があるのは図書館のお陰と言っても過言ではない。今だからこそそう思うことができる。しかし、あの頃は談話室の要領でしか使用しておらず、周りに多大なる迷惑をかけていた。また、読む本と言えば雑誌やマンガくらいなもので、絵の無い本を読む人を軽蔑してしまっていたくらいだ。

そんな私が図書館を頻りに利用する様になったのは、自暴自棄に陥り、学校を辞めたいと思うようになってからだ。そのため、クラスにも居たなくなり、行き場と言えば図書館しかなかった。最初は雑誌を読んで時間は潰せていたが、次第にネタは尽き、自然と小説なんかを読むようになっていった。本の魅力に取りつかれるのに時間はかからなかった。その魅力を挙げるとすれば、一つに自分の世界に入れること、二つ目に想像力、読解力、文章力など、生きていく上で役立つ力が身に付くことだ。はたまた、いろんな人が自分の考えで書いているので、いろんな考え方を学ぶことができる。私は、そのお陰で狭い視野を広げることができ、だんだんと学校に対しての考え方も変わっていった。そのため、何とか卒業することもできた。図書館は知識の宝庫だ。何かにつまずいた時、ふと図書館に寄ってみては？図書館の神さまが力になってくれるはずだ。

(いわき・ともあき)

図書委員から

ブックハンティング!

4年C組 森澤 海里



「ブックハンティング」この言葉を初めて聞いたときは、頭の中を？マークが飛び交った。「本」という性質のものとは、反対のワイルドで能動的な語感。そして、それがそのままの意味であると分かりびっくりした。本当ですか。本当に「book」を「hunting」してもいいんですか。各クラス1万円分も？半信半疑だ。

今まで本屋の店先で長時間立ち読みしていると店の人にすぐそばで、本の整理や掃除をされるといった露骨な拒否反応を示されたりしていました。しかし、自分が読みたい本をハンティングして図

書館に入れてもらうと、借りて座って(あるいは寝転んで)ゆっくりじっくり読めるのです。

いざ、ブックハンティングへ……実際本を選ぶとなると1万円分の責任を感じ案外難しいものです。これでいいのか、他人にとっても面白い、必要だと思ってくれるような本だろうかという思いを巡らせ迷ってしまいます。だから、なるべく多くの人の趣味、嗜好が反映されるような本選びになるように、みなさん どんどん参加してください。参加できない人もクラスの図書委員に遠慮なくリクエストしてください。

「感動と知識の宝石箱やー」と思わず叫びたくなるように図書館をより充実させてこの多感な学生時代に読書の喜びをみんなで分かち合いましょ。

さあ、君も今日からブックハンターだ。

(もりざわ・かいり)

本等との出会い

のだめにはまって

一般教育科 数学 高橋 宏明



昨年秋に放送された「のだめカンタービレ」(実写版)はとても面白かった。TVドラマを1クール分全部見たのは十数年ぶり。なんと言っても「のだめ」がのりうつったとしか思えない上野樹里が凄かったけれども、それだけでなく制作スタッフの原作に対する愛情がよく伝わって来てとても好感の持てる出来だった。(結局原作まで全巻揃えてしまった。)

一応説明を加えておくと、このドラマの原作は音楽大学を舞台にしたお笑い系のマンガ(図書館にある)で、主人公のピアノ科の学生野田恵(のだめ)をはじめ個性の強いキャラクターたちがクラシック音楽の演奏シーンを交えつつ大いに笑わせてくれる。ちなみに、音楽、美術など芸術家や芸術系の学生には実際に個性の強い(つまり変わった)人が多いような気がする。数学者と同じです。

エグい笑いも相当入っているのに読んだ後さわやかなのは、登場人物がみんな本当に音楽を愛しているからだろう。そして、絵で音楽を伝える難しさ乗り越えて、「のだめカンタービレ」の演奏シーンからは音楽をする喜びがとていまいきいと伝わってくる。クラシックというと何かと「小難しい・堅苦しい・古くさい」イメージが強いけれど、このマンガはこれまであまり誰もやらなかったやりかたで、あまり聴く習慣のなかった人にもクラシックの深い魅力を伝えることに成功していると思う。実際に、ドラマの高視聴率も手伝って「のだめカンタービレ」がきっかけでクラシックを聴き始めるという人が少なくないようだ。クラシックファンのひとりとして、とてもうれしい。

そこで、この作品の重要なシーンに使われているものを中心に、いくつかの曲とその優れた演奏を紹介しよう。(同じ曲でも演奏によってまるで違って聞こえるのが、クラシックの大きな楽しみの一つ。)ドラマに使われた曲をダイジェストで集めたアルバム(図書館にある)もあるけど、できれば全曲をいい演奏でじっくりと聴いていただきたい。

・ベートーヴェン：交響曲7番

Sオケで演奏したドラマのオープニング曲。クラシック史上最もイケイケな曲の一つ。いい演奏で聴いたときのドライブ感はそのらのロックバンドより絶対にすごい。クライバーのあざやかなライブ録音で。

・ラフマニノフ：ピアノ協奏曲2番

千秋がピアノを弾いてシュトレゼマンと共演した、「ロマンティックな音楽」の典型みたいな曲。天才少年キーシン16歳(!)のときの演奏でいかがでしょう。

・ストラヴィンスキー：「ペトルーシユカからの3楽章(ピアノ版)」

・ショパン：練習曲集(エチュード)

のだめがコンクールで弾いた曲。「ペトルーシユカ」は、聴いてみると「今日の料理」のテーマと混じってしまうのというのも納得。どちらも、ピアノ演奏の基準を変えてしまったポリニー衝撃のデビュー録音で。

・エルガー：ヴァイオリン・ソナタ

(ドラマには出てこなかったが)千秋の叔父さんの家でのだめと千秋が合奏する。この曲が家族の再生のきっかけになるいいシーンだった。あまり知られていない曲で、実は私もこのマンガで初めて知って買った。マンガのとおりいい曲。日本人二人(加藤知子と江口玲)のいい演奏で。

・ガーシュウィン：ラブソディー・イン・ブルー

Sオケが演奏して、ドラマのエンドテーマにもなっていた。ジャズをうまく取り込んだ楽しい曲。最後のあたりの「都会の夜」的雰囲気がかっこ好きです。ジャズのピアニスト/作曲家から大指揮者になってしまったプレヴィンのピアノと指揮あたりがいいかな。

追記：図書館にのだめコーナーを設けてこの他にも関連CDを並べていただいています。また、もっと知りたいという人はぜひ私に声をかけてください。(たかはし・ひろあき)

本等との出会い

バークレー 物理学コース5 統計物理 久保亮五監訳

制御情報工学科 神内 教博



私たちの感覚を通して知りうる世界は、すべて巨視的な系です。すなわち、それは原子の大きさに比べてはるかに大きな物体から成り立っており、非常に多数の原子から構成されています。一方で私たちは、20世紀前半になされた、微視的な1個1個の原子のふるまいを支配する量子力学的物理法則を知っています。ここで、日常生活で遭遇する巨視的な系をこの量子力学で説明しようとするならば 10^{25} 個の原子の運動をコンピュータで計算することになり、これは非現実的な話になります。そこで、 10^{25} 個の原子を統計的に処理して、巨視的な系の物理法則を説明しようとするのが、この本のねらいです。

このように、量子力学から統計物理学に視点を変えて考えを進めるために、この本の冒頭で、『厳密性に拘泥したり、あまりに批判的な態度をとることによって想像力を窒息させてはならない。』と述べています。

ところで私は、音声認識の研究をしていますが、音声認識の研究分野では過去20年間、音声を確率・

統計理論に基づき処理する手法が主流になっています。このことは統計物理学と同じ手法を用いているという意味で好ましい事であるように思われます。その一方で私は、『人間は、さいころを振りながら人の話を聞いてはいない。』とも考え、新しい手法を提案していますが、一部の研究者を除いて多くの研究者は従来手法にしがみつき、その結果、音声認識装置の実用化が遅れています。そのような状況下で私は、『音声認識の研究分野では、多くの研究者が従来の研究手法にこだわるあまり、新しい手法に対して厳密性に拘泥したり、あまりに批判的な態度をとることによって想像力を窒息させている。』と感じています。私は大学2年生のときにこの本を読み、視点をかえて考える事の重要性とそのときの心構えを学びました。

(じんない・みちひろ)



グリム童話の世界 ヨーロッパ文化の深層へ

高橋 義人 (岩波新書・岩波書店)

キリスト教の敵(?)である、『グリム童話』というメルヘンは面白い。『グリム童話』をとおして、キリスト教とは何か?を考えることもできる。確かに「キリスト教徒」にとって「神が実在するように、悪魔もまた実在する」(P.145)のである。

一般教育科教員 長谷川 隆

完全図解周期表

(ニュートンプレス)

周期表の成り立ちと全元素に関するプチ情報をビジュアルに描いた本です。あなたは原子番号43番の元素が自然界に存在しないことを知っていますか? モノづくりでは多彩な元素が重要な役割を演じていることを知っていますか? カラー絵本を眺めながら、ちょっと雑学を…。

制御情報工学科教員 平岡 延章

新

着

図

書

数をめぐる50のミステリー 数学夜話

ジョージ・G・スピロ 著 寺嶋英志 訳 (青土社)

数学と聞くと拒否反応を示す人も多いのですが本書は構える必要がありません。題材は数にまつわることですが、中身は様々な物語を集めた本です。数学とはなんと美しいものだろうと感じずにはいられない一冊です。

機械工学科教員 吉永 慎一

日本人はどのように国土をつくったか 地文学事始

上田 篤・中村 良夫・樋口 忠彦 (学芸出版社)

従来の建造物への法制度の規制には、日照、防災、建ぺい率等のそれぞれ相互の整合性に乏しくあったが、新たに2004年12月に景観法ができた。本書は、歴史学、人類学、国文学、土木学、建築学等から、日本古来の国土開発の姿を読み解き、未来のきれいな国づくりの方途を問う意欲作。

建設環境工学科教員 松原 三郎

クージョ

スティーヴン・キング (新潮文庫)

気温40℃の下で故障した車の中に閉じ込められた母子。なぜ閉じ込められたかという、狂犬病に犯された巨大な犬、クージョがいるからだ。助けも来ない、来たと思ってすぐにはクージョの餌食となる。炎天下の中子供は弱っていき、ついに母はクージョに立ち向かう。ひたすら恐い長編。

5年M組 山本 佑季

ひとり日和

青山 七恵 (河出書房新社)

東京へ出てきた20歳の女の子と居候先のおばあさんとの日常生活を描いた小説。何気なく過ぎ去っていく日常の虚しさや孤独感が伝わってくる。自分との世代の違いを感じるが、共感できる面も多い。学生のみなさんはもっと共感できるのでは？ 芥川賞受賞作。

機械工学科教員 小島 隆史

ムーン・パレス

ポール・オースター (新潮文庫)

傑作のにおい、と言えば本好きには分かってもらえるだろうか。最初の2、3ページを読んで、思わずときどきしていることに気づくあの瞬間。この本には、ここ半年くらいで一番それを感じた。柴田元幸の訳がすばらしい。英語に関心のある人はぜひ原書を見て、自分の訳を作って、照らし合わせてみよう。本当に本当にいい勉強になります。

一般教育科教員 高橋 宏明

新

着

特別法案001条—DUST—

山田 悠介 (文芸社)

2012年、日本に新たな法ができた。「ダスト法」それは、必要のない人間を、無人島に棄て、500日の間生活させるといったものだった。国に棄てられた民一棄民一感情を失ってゆく棄民たちの中、繰り返される悲劇…地獄…そして芽生えた1つの愛…。愛情と憎悪が絡み合う奇跡のストーリー。

2年E組 岩瀬 大佑

放射線利用の基礎知識

東嶋 和子 (講談社)

放射線なんて自分には関係ないと思いませんか？でも、人体を構成する物質にもある割合いで放射線を出す元素が含まれており、誰もが日々被曝しています。放射線は病院で行う検査や工業製品の製造にも応用されています。正体を少し知っておくといいかもかもしれませんね。

制御情報工学科教員 平岡 延章

図

書

零式

海猫沢めろん (ハヤカワ書房)

「燃え尽きて灰になりたいだけ。」
圧倒的にクールな疾走感。壮快に過ぎる程のドライブ。米帝統治下に置かれたニッポンの西暦二〇〇〇年—^{レゾロマン}原始駆動機を駆る少女・朔夜と、天使が出会い、歴史は稼動する。ハヤカワ「リアルフィクション」最前線。読まずに死ねるか？

3年E組 矢野 正人

コスト構造改革のヒント 橋の設計・デザインを楽しく

寺田 和己 (鹿島出版会)

建設業は、2005年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、1997年政府の「公共工事コスト削減対策に関する行動指針」策定がされた。本書は、建設の構造設計のコストダウンに対して、工事入札に際して発注者から入札者に技術提案を求めている現状を解説した本。

建設環境工学科教員 松原 三郎

から

図書館に新しく入れた本

化物語(バケモノガタリ)

西尾維新 (講談社)

この本は、全ての「西尾維新」という名前を聞いたことがある人、もしくは日常に退屈している全ての人々には是非読んでいただきたい本です。この本には、戯言シリーズに垣間見える西尾維新の笑いに関する面白い部分がつまんでいると思います。ですが、この本は現在、ほぼ常に借りられているので、もし無ければ、「クビキリサイクル」も読んでみて下さい。

4年M組 井上 真吾

グレート・ギャッピー

スコット・フィッツジェラルド
村上春樹訳 (中央公論新社)

村上春樹を小説家たらしめたフィッツジェラルドの長編小説。村上が40年以上以上つくしんできたこの小説を、57歳の村上自身がついに翻訳！ 原文でも読んでみたくなるので、英語に自信がある人、原作にも是非チャレンジして、感想を聞かせてください。

一般教育科教員 長谷川 隆

辞めるなんてもったいない！ 入社3年たったら読む本

大和 賢一郎 (大和書房)

会社で働いた時、多くの人が辞めたいと思うことでしょう。この本には、会社で働くことの利点、活用方法、会社に依存せず自ら目的を持って働くことの大切さが書かれてあります。私自身、会社を辞めようとした時に読み、会社に行くのが楽しくなりました。(結局は辞めましたけど)

電気情報工学科教員 辻 正敏



■第2回ブックハンティング本紹介

書名	分類記号	著者名	書名	分類記号	著者名
情報はなぜビットなのか	007.6	矢沢久雄	テイルズオブジァピス	913.6	結城 聖
プログラムはなぜ動くのか	007.64	矢沢久雄	彩雲国物語	913.6	雪乃紗衣
ミラクル心理テスト	140.4	生田目浩美	少女七重(ななみほど)と七人の可愛そうな大人	913.6	桜庭一樹
知っておきたい世界と日本の神々	164	松村一男監修	螺旋迷宮	913.6	海堂 尊
目からウロコの日本の神々と神道	170	三橋健監修	傀儡后	913.6	牧野 修
日本神さま事典	172	三橋健	No call on life	913.6	壁井ユカコ
図解世界史	209	成美堂出版編集部編集	蛇行する川のほとり	913.6	恩田 陸
超速!日本史の流れ	210	竹内陸泰	モノレールねこ	913.6	加納朋子
図解日本史	210.1	野島博之監修	夜鷹	913.6	甲田学人
栗林忠道硫黄島からの手紙	289.1	栗林忠道	もしもキミが。	913.6	凜
IQパズル世界地図に挑戦!	290	久伊豆好男と頭脳ゲーム研究会	絶対、最強の恋のうた	913.6	中村 航
脳を鍛える書き込み式地図ドリル	290	児玉光雄監修	きつねのはなし	913.6	森見登美彦
理解しやすい倫理	307	藤田正勝編著	アイの物語	913.6	山本 弘
裁判長!ここは懲役4年でどうですか	327.04	北尾トコ	死顔	913.6	吉村 昭
ハッと見てピンとくる図解ルゼンの技術	336.4	八幡巖芦史	本陣殺人事件・蝶々殺人事件	913.6	横溝正史
ぼくは13歳職業、兵士。	369.4	鬼丸昌也	ひぐらしのなく頃に	913.6	スクウェア・エニックス企画・編集
タイムマシン	421.2	福江純監修	14才の母	913.6	一ノ瀬未希
ミステリアスな宇宙	440	半田利弘	空の欠片	913.6	九条菜月
パラレルワールド	443.9	ミチオ・カク	図書館内乱	913.6	有川 浩
目からウロコの宇宙論	443.9	富永裕久	陰日向に咲く	913.6	劇団ひとり
宇宙「96%の謎」	443.9	佐藤勝彦	好き好き大好き超愛してる。	913.6	舞城王太郎
構造力学	501.34	近畿高校土木会編	霧崎軋識の人間ノック	913.6	西尾維新
メカニズムの事典	531.3	伊藤茂編	ザレゴトディクショナル	913.6	西尾維新
電子回路シミュレータP Spice入門編	549.3	榎木義則編著	化物語	913.6	西尾維新
よくわかる最新電子回路の基本と仕組み	549.3	国島安治	オートフィクション	913.6	金原ひとみ
よくわかる液晶ディスプレイのできるまで	549.9	鈴木八十二編著	サスツルギの亡霊	913.6	神山裕右
有機ELのすべて	549.9	城戸淳二	真夜中のマーチ	913.6	奥田英朗
世界の犬カATALOG	645.6	神里 洋	中原の虹	913.6	浅田次郎
きょうの猫村さん	726.1	ほしよりこ	Love or like	913.68	石田衣良
ドラことば	726.1	小学館ドラえもんルーム編	「伝える言葉」プラス	914.6	大江健三郎
だららん日和	726.5	コンドウアキ絵と文	ランゴリアーズ	933	スティーヴン・キング
武豊×オリビエ・ベリエ	788.5	武 豊	図書館警察	933	スティーヴン・キング
人生をくれた名馬たち	788.5	吉川 良	ブルックリンの八月	933	スティーヴン・キング
9級から初段までの基本詰碁	795	依田紀基	瘦せゆく男	933	スティーヴン・キング
石倉昇のラクラクわかる基本	795	石倉 昇	ドランのキャデラック	933	スティーヴン・キング
必笑小曲(こはなし)のテクニック	901.7	米原万里	いかしたバンドのいる街で	933	スティーヴン・キング
ライトノベル☆めった斬り!	910.26	大森 望	メイプル・ストリートの家	933	スティーヴン・キング
このライトノベルがすごい!	910.26	「このミステリーがすごい!」編集部編	シャイニング	933	スティーヴン・キング
夏期限定トピカルパフェ事件	913.6	米澤穂信	回想のピュイック8	933	スティーヴン・キング
ダブルダウン勸線郎	913.6	西尾維新	アトランティスのこころ	933	スティーヴン・キング
破戒	913.6	島崎藤村	勝利	933.7	ディック・フランシス
どろろ	913.6	手塚治虫原作	ハマースミスのうじ虫	933.7	ウィリアム・モール
青葉くんとウチュウ・ジン	913.6	松野秋鳴	牙は甘くささやく	933.7	ステファニー・メイヤー
イクストーヴァの一番長い日	913.6	時雨沢恵一	狼の月	933.7	ステファニー・メイヤー
地下鉄(メトロ)に乗って	913.6	浅田次郎			

■CD新着紹介

タイトル	歌手・演奏者等	タイトル	歌手・演奏者等
カーリユー・リヴァー	ブリテン	クール誕生	マイルス・デイビス
カラー・オブ・ライフ	押尾コータロー	私の運命線	センチティイ
GREAT ROMANTIC	デトロイト7	ステイディアム・アーケイディアム	レッド・ホット・チリ・ペッパーズ
オーファンズ	トム・ウェイツ	熱情・ワルトシュタイン・テンベスト	ファジル・サイ
ザ・タウン・アンド・ザ・シティ	ロス・ロボス	ニューポート1958+2	マヘリア・ジャクソン
スパイラル	上原ひろみ	ラスト・レコーディング1	ビル・エヴァンス
モーツァルト:フルート四重奏曲全集	セヴァリーノ・ガッツローニ	ソロ・オン・ヴォーグ+1	セロニアス・モンク
ライブ・アット・ザ・フィルモア・イースト	ニール・ヤング&クレイジー・ホース	プレイズ・ジミ・ヘンドリックス	ギル・エヴァンス
ライト・グレンエイズ	インキュバス	19~すべての人へ	19(ジューク)
のだめオーケストラLIVE!	のだめオーケストラ	ジャック・ジョンソン	マイルス・デイビス
ザ・ロード・トゥ・エスコンディード	J.J.ケイル&エリック・クラプトン	ザ・ベリー・ベスト・オブ・アース・ウインド&ファイアー	アース・ウインド&ファイアー
ソウル・クラシックを歌う	アーロン・ネヴィル	ビリー・タレント	ビリー・タレント
トーキョー・セッション	ヤマンドゥ・コスタ	ハリケーン	エリック・ベネイ
ミー・アンド・マイ・ギャング	ラスカル・フラッツ	ナックル・ダウン	アーニー・ティフランコ
ザ・インフォメーション	BECH	空中	フィッシュマンズ
Johnny Hell	浅井健一	マーラー交響曲第2番〈復活〉他	アバド
プリンセス・ファーギー:The Dutchess	ファーギー	リズ・フェア	リズ・フェア
インサイド・ザ・ホロウ	リリックス	キューバ音楽の真実	中村とうよう選曲
モダン・タイムズ	ボブ・ディラン	ロック・オペラ"トミー"	ザ・フー
ライツアウト	シュガー・カルト	パンゲア	マイルス・デイビス
彼女	aiko	イン・ブルー	ザ・コアーズ
プレイキング・ベンジャミン	フォビア	エソトトリニダード・スティール・バンド	エソトトリニダード・スティール・バンド
フィードバック	ジュラシック5	イエー・イエー~20ビート・クラシックス	ジョー・ジエ・フェイム
耳鳴り	チャットモンキー	スーパーベスト	ザ・ブルー・ハーツ

■DVD新着紹介

タイトル	タイトル	タイトル
メルキアデス・エストラーダの3度の埋葬	16ブロック	ガス燈
戦場のアリア	ワールド・トレード・センター	レベッカ
ナイロビの蜂	マッチ・ポイント	真昼の決闘
グッドナイト&グッドラック	ミーン・ストリート	市民ケーン
M:I:III	理由	マルタの鷹
ユナイテッド93	ラスト・マップ	アラバマ物語
バイレーツ・オブ・カリビアン2	自転車泥棒	禁じられた遊び
X-MEN ファイナルディビジョン	小鹿物語	天井桟敷の人々
フィラデルフィア	荒野の決闘	

新スタッフ紹介

図書館長 権藤 典明
 図書館 辻井 佐代子
 武内 志保
 轟 あさ子(夜間担当兼務)
 夜間担当 吉林 拓也
 中田 雄也
 佐々木 祐仁
 どうぞ気軽に声をかけてくださいね。
 よろしくお祈りします。

編集後記

この「図書館だより」の創刊号は平成6年11月に発行されました。最初は年4回出していましたが、今は年3回で定着しています。今号で40号になりました。いつの間にかという感もあり、よくそこまでという感もあります。50号、100号と発展していくことを祈念します。

(前図書館長)